

岐大通 2011



2011 J.League Division2 第2節 **ガイナレ鳥取戦**
8/27(土) 18:00~ @岐阜メモリアルセンター長良川競技場

ああ、またしても「前半は悪くなかった」。
岐阜 0-2千葉【第2節】

F C岐阜は長良川で千葉と対戦し、0対2で敗戦。なかなか勝てない悪循環、どう乗り越えるか。今こそサポーターが一丸となって戦う時。F C岐阜頑張れ！（ハマッチ）
今季は千葉に勝てなかったか。それでも、前半の内容には久しぶりにワクワクした。前半終了の笛とともに聞こえてきた千葉サポーターのブーイングが気持ちよかった。もちろん、「前半はよかった。」という言葉に意味はない。サッカーは45分で勝敗を決めるゲームではないことも知っている。岐阜にしては控えめな暑さとはいえ、この時期にあんな攻め方をしたら後半は足が止まってしまうだろう。千葉はそこを考えて、あえて前半を抑えたのかもしれない。けれども、今の岐阜にはあの戦略がベストだったと考える。開幕から毎試合ゴールを奪われる。前半早々でもったいない失点。そして、京都戦以外は、先制されるとそのままズルズルいってしまう現状。そうすると、どうしてもほしいのが先取点。その狙いは正しかった。ただ、得点だけが決まらなかった……。相手キーパーの活躍があったとはいえ、あれだけ決定機を作ったのだから、せめて一回は決めておかないと勝利はおぼつかない。

「シュートは枠内へ。」確かに、誰かに当たってコースが変わることもあるけれど、やっぱり枠内に飛んだ方がゴールの確率は高いはず。ただ、試合前のピッチ練習でも枠に飛ばないシュートの方が多いような気がするのボクだけですか？それとも、試合直前だからボールを蹴る感触だけを確認しているのだろうか？とにかく、今まで以上にゴールを意識してのシュート練習に励んでほしい。

それから、守備。2失点目は、もうどうしようもない。あの位置であんなミスをしたらお手上げだ。もっとも、今季はこういったありえないミスが続発してるけど（苦笑）。それよりも、問題は1失点目。F Kから、走りこんできた長身の外国人選手に頭で決められたワケだが、背の高い選手にどフリーで、しかもジャンプもせずに決められた。いったい、誰がマークすることになってたんだろう？そして、悔しいというか、情けないのは、失点前のF Kでも、同じ選手に同じように走りこまれてシュートまで持ち込まれていたにもかかわらず、実にアッサリと決められたことだ。後半開始直後のF Kをいいシミュレーションにさせてしまったことが残念だ。気を抜いているのではないだろうし、前半で疲労したこともわからないではないが、2点とも防げた失点だった。とにかく、ホームでの敗戦はキツイ。おまけに、6連敗。6戦連続無得点。何が何でも次節は勝利を！それが一番の特効薬。みんなの力を結集して、みんなで勝利をもぎ取ろう！！（ぐん、）

「ここまでは出来るんだからイケる」という期待と、「でも、これで点が取れないからダントツの最下位なんだよなあ」という諦めに近い感覚の前半。そして、後半から修正を施した相手にキツリ決められ、目を覆いたいミスからの失点も。「今年のF C岐阜の戦いぶりをダイジェストにまとめてみました」みたいな試合だった。一緒に観戦していた友人が「試合が終わっての観客の退き方が早かったですね」と驚いていたけど、だってダイジェストだったから。みんな早く帰りたいわけじゃない。勝った後で試合の余韻を愉しみたいんだ。京都戦の後がそうだったでしょう？（吉田铸造）

【ユース】県リーグ戦の再開とJユースカップ

我がF C岐阜ユースU-18（以下岐阜ユース）は今年岐阜県の高校サッカーの県リーグである「Gリーグ」3部に参戦しています。前期は6チームでリーグ戦を戦っており、7月までに3試合が終了した時点で岐阜ユースは3連勝しており、現在6チーム中の1位。今日行われている試合の結果によっては前期リーグ戦突破が決定し、後期リーグ戦に進む事となります。吉報を待っています！

また、「Jリーグから「2011 Jユースカップ」の概要が発表されています。岐阜ユースは予選はDグループに所属し、対戦相手は横浜FM、新潟、清水の3チーム。どこもJ1のユースチームばかり（汗）。初戦は10月22日（土）長良川競技場にて横浜FMマリノスユースと対戦します。キックオフは13時。聞く所によると、ぎふチャンさんでの某番組で岐阜ユースの選手が「全国大会に行きます！」なんて大言壮語（笑）を言いたらしいですが、そういった姿勢は非常に重要！まずは1勝目指して頑張ってください！FORZA！F C岐阜ユースU-18！！（シュナ）

today's guest

ガイナレ鳥取

2010 JFL優勝
J2通算対戦成績：0勝0分1敗
2011成績
第0節 11/06/29 鳥取 1-1岐阜

2011J2

順位表 第2節 変則
勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の
戦績（岐阜から視点）

1	FC東京	41p	+19	32	13	A	H
2	徳島	41p	+14	32	18	H	
3	栃木	40p	+12	29	17	H	
4	千葉	39p	+10	32	22	A	H
5	札幌	37p	+8	24	16	H	A
6	北九州	34p	-1	21	22		
7	鳥栖	33p	+11	25	14	A	
8	東京V	29p	+13	38	25	H	A
9	愛媛	29p	-3	26	29	A	
10	熊本	29p	-6	17	23	A	
11	草津	29p	-7	25	32		
12	大分	28p	-2	24	26	H	
13	湘南	27p	-5	20	25	H	
14	横浜FC	26p	-1	21	22	A	
15	京都	23p	-3	23	26	H	
16	水戸	23p	-6	22	28	H	A
17	岡山	23p	-10	24	34		
18	鳥取	19p	-3	19	22	A	
19	富山	18p	-14	16	30	A	
20	岐阜	11p	-26	13	39	---	---

次回 HomeGame

第4節
ファジアーノ岡山戦

9/3(土) 18:00
@岐阜メモリアル
センター長良川競技場

投稿募集！

gidaidohr@hotmail.co.jp

F C岐阜大好き通信（岐大通）
8/27号
編集発行：『岐大通』製作委員会
今号の製作担当：ささたく&吉田铸造

編集子より
ご愛顧いただきありがとうございます。
今シーズンも「全ホームゲーム」での
発行を目標にしますので、よろしくお
願い致します。

ALADDIN

何も無い店だけど・・・
心の花が咲く・・・
何も無い店だけど・・・
心癒される・・・
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目（木ノ本公園東）

「いらっしやいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。

休：日曜日（今日は営業しています）



これが『相性』というものなのか…。 水戸 1-2 岐阜【第 25 節】

F C 岐阜はアウェイで水戸と対戦し、2 対 1 で勝利。押谷選手の先制ゴール、野垣内選手の決勝ゴールといい攻撃が見えた。あとはここから勝ち続けるのみ。F C 岐阜頑張れ！（ハマッチ）

久しぶりに、ボクの記憶の中では本当に久しぶりに、C K がキーパーの頭上を越えた。そこらへんは記憶にある。なぜか、スローモーションのようにファーヘボールが流れたように見えた。（いや、けっして押谷の C K がボヨンだった……というワケではない！）

そこへ、誰かが飛び込んできて、カラダごとボールを叩き込んだ。その瞬間、アタマの中がスパークして、気がついたら野垣内が目の前に来てた。野垣内だったのかっ！でも、いったい、いつのまにゴール裏まで……？待ち望んだ久々の歓喜で、記憶がすっ飛んでしまったのか。結局、C K からゴールまでの流れは、帰宅後録画を見て、「ああ、こういう展開だったのかっ！」と、ようやく理解。鮮やかなサヨナラ・決勝弾は、ファーサイド。水戸 DF を置き去りにしての鮮やかな抜け出しから。それにしても、ゴール裏の面々のダッシュっぷり！アツというまに最前列が埋め尽くされて（笑）でも、ゴールを決めた、その勢いのままアノ場所へ駆けつけてくれたのが本当にうれしかった。今まで何度も夢見ていたよ。ありがとう、野垣内！

さて、一年ぶりの K 's デンキ・スタジアム。噂には聞いていたけど、いろんな箇所にあの日の衝撃を留めていた。補強が組まれたままの無人のメインスタンド。アウェイ入場口最寄りの出入り口付近の段差。大型ビジョン下のコンクリートの隙間。波を打ったままの、ゴール裏のコンクリートブロックの通路。こうして、試合が開催するために、どれだけの苦労があったか。完全に修復するまで、どれくらいの間と労力が必要なのか。そんなことを考え、しばし立ち尽くしてしまったよ。一刻も早く、元通りに、メインスタンドにお客さんが入れるよう復活するのを祈ってます。それにしても……。録画やスタッツを見ると、「ホント、よく勝ったなあ～？」という試合。彼我のシュート数や決定機数の差にあ然とする。K 's デンキのゴール裏は試合が見えにくいことこのうえないけど、ヤバイ場面はいくつも見たし、試合の主導権はまちがいに水戸のものだった。それでも、決めるべきところを決めないと、勝利が遠のいていくのは前節の千葉戦で実証済み。試合後のヒーロー・インタビューを終えて挨拶に来てくれたノグイトに「エイデン賞もらっちゃえっ！」と思わず叫んだけれど、よくよく考えると、MVP（エイデン賞）は恭平に決まりだよな（笑）。

それから、ホントに残念だったことがひとつ。それは、同点に追いつかれた場面。クロスを上げたのは吉原宏太だったけど、これはセット・プレーのこぼれ球を拾われたもの。でも、このボールに反応していたウチの選手は皆無だったね？またまた、全員がウォッチャー。そろそろ何とかしてくださいね？

ともあれ、これで、ようやく今季の 3 勝目。相性って言葉は好きじゃないけど、やっぱりあるのかな？今まで一度負けただけ。しかも、J 参入から、水戸とのアウェイ戦は負け知らず。押谷も昨季に引き続いて、このスタでゴールを決めたし、洗一も J 通算 10 試合出場を達成した。今季の勝ち点の半分以上を水戸からいただいている。こういう流れは来季以降も手放さないでおかなきゃね！そして今度こそ、この勢いを次節につなげてほしい。ホーム 3 連戦を浮上の足掛かりにして連勝を！それを後押しするために、今週末も長良川に集まりましょう！！（ぐん、）

アディショナルタイムでのコーナーキック獲得。3 分の時間が、もうほとんど残されていないことは分かっていた。それでも、最後まで諦めることなく声援を送り続けるゴール裏の岐阜サポーター。時間を惜しんでなのか、それまでコーナーを蹴っていた野田明宏に替わり、すぐ近くにいた押谷がキッカーに。蹴ったボールは、それまでの軌道がニアサイドに飛んでいたのに対し、ふわりとファーサイドに上がった……。のは、現地でも見ていて分かった。そして、ゴール前で敵味方の選手たちが競り合って交錯してボールが見えなくなり…次の瞬間、ボールがバウンドしながら視界に再度飛び込んできたかと思うと、水戸のネットを揺らした。……ゴォール！！！！

驚きと喜びで訳が分からなくなっていた僕の前に、エンブレムを誇らしげに叩きながら、小走りで駆けてきて（ちなみにドヤ顔だった（笑））、大きく吼えたのが…ゴールを決めた野垣内だった。録画で確認すると、G K 本間がニアへと予測を誤ってカブリ、ファーに秀人と野垣内の 2 人が飛び込み、野垣内がヘッドで押し込んだ、見事な勝ち越しゴール。その歓喜の興奮が冷めやらぬまま、試合終了の笛。6 試合ぶりの勝利は、6 試合前の京都戦と同じ、試合終了直前の劇的なゴールで手に入れた、本当に心から待ち望んだ、選手・サポーターの歓喜が爆発した勝利だった。

個人的な MVP 候補には、決勝点を叩き出した野垣内もだが、押谷も先制点のルーブシュートと決勝点の C K アシストを決めてくれたし、G K 恭平は何度も決定機を防いでくれたし……悩んだ結果、これを切っ掛けに今後の復調に期待する意味も込めて押谷選手に捧げたい。

それにしても、チーム（クラブ）の「相性」ってホントにあるんだな……と、しみじみ思わざるを得ない。選手も監督も替わっているハズなのに、これで対水戸戦の通算成績は 7 勝 2 分 1 敗、しかも 5 連勝。今季の水戸はウチよりも上位にいるんだけど、今季も 2 勝…というか、ウチの今季 3 勝のうち、貴重な 2 勝が（苦笑）。アウェイでの勝利も、昨年の水戸戦以来だというんだから、もう……。

……と喜びは尽きないが、やはり快勝という訳ではないのだし、課題も多かったと思う。シュート数で言えば、水戸の 13 本に対し、わずか 3 本。それで 2 得点できたのだから「シュート成功率が 6 割強」と言えば非常に聞こえが良い（笑）が、もっとシュートを撃つ意識を持たなければならないだろう。試合全体として見た場合、ボールを支配して決定機を多く作り出していたのは水戸の方だったと思うし、今までと同様に、岐阜は自分たちのミスで攻撃を終わらせてしまう状況も多かった。

それに、今節勝利したとはいえ…あまり直視したくない残念な事実ではあるのだが（苦笑）……まだまだダントツの最下位である事に変わりはない。19 位との差は勝ち点 7。3 連勝しないと追いつけない計算だ。となれば、今節からの鳥取・岡山・熊本と続くホーム 3 連戦は「負けられない試合」ではなく、「勝たなければならない試合」だ。もちろん、選手たちもその事は充分に分かっていて、試合終了後の野垣内も、僕らに「次の試合で負けては今日の勝利も意味がない。次こそが大事」と決意をトラメガで語られている。今節も……というか、ホームでこそ勝利が見たいのだから、選手たちがひたむきに走って貪欲にゴールを狙い、勝利を掴み取る姿を信じて、声援を送り続けたい。最後に、やはり水戸のホーム・K 's スタジアムには、まだ東日本大震災の爪痕が深く残されていた。昨年改修したばかりだというのに、足場が生まれ立ち入り禁止となっているメインスタンドや、陥没しているアスファルト道路、割れたコンクリートブロック……周囲にも、ブルーシートで応急補修をしたままの民家が散見された。相変わらず余震も続いていると聞く。そんな中でも試合を運営しているクラブや、応援しているサポーターには敬意を表したい。ピッチを挟んで対峙する 90 分間は敵同士だが、それ以外では「サッカーファミリー」なのだとは僕らは思っているし、彼らが 1 日でも早く震災の被害から立ち上がってくれる事を、心から信じている。（ささたく）



本庄工業株式会社

<http://www.honj-p-woodream.com/>